



宮城県業務説明会

研究員

Miyagi
Prefectural
Government

研究員の仕事

宮城県産業技術総合センター等に勤務し、
研究開発・技術支援・人材育成等の業務に従事

配属先

産業技術総合センター
本庁(経済商工観光部 新産業振興課など)

自己紹介

神奈川県出身

H26.3月 宮城県内大学院修了（博士）

H26.4月～ 宮城県内の大学にて材料関係の研究

H31.4月～ 産業技術総合センター 材料開発・分析技術部
機能材料開発班

機能性材料の開発・分析に係る試験研究・技術支援等

志望動機

なぜ公務員だった？

材料開発・分析等の技術的な仕事に取り組みたいと
考えていたところ、センターの存在を知りました。

なんで宮城県産業技術総合センターを選んだ？

専門を生かしながら宮城県に住むことが出来る
環境に惹かれ、志望しました。

担当した仕事（材料物質系）

機能材料開発班

県内企業の技術的な困りごとと支援から研究開発まで、幅広く取り組んでいます。



↑ 熱分析システム

放射光施設「ナノテラス」↓

担当業務

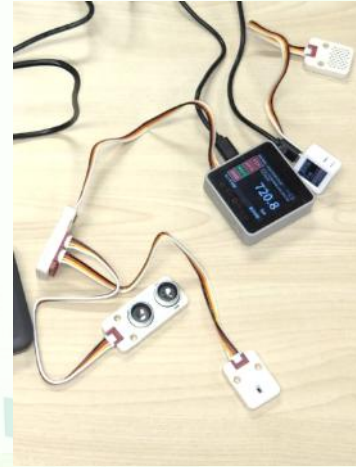
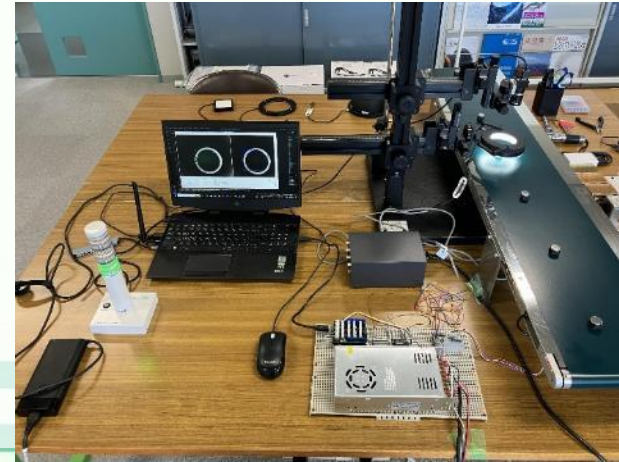
- ・ 製品性能向上のサポート
- ・ 放射光を用いた材料研究



担当した仕事（情報系）

情報技術開発班

県内企業の方からのAI・IoT関連の技術相談や伴走支援を行っています。



担当業務

- ・ AI・IoT関連の各種セミナーの開催
- ・ 企業訪問しての伴走支援など



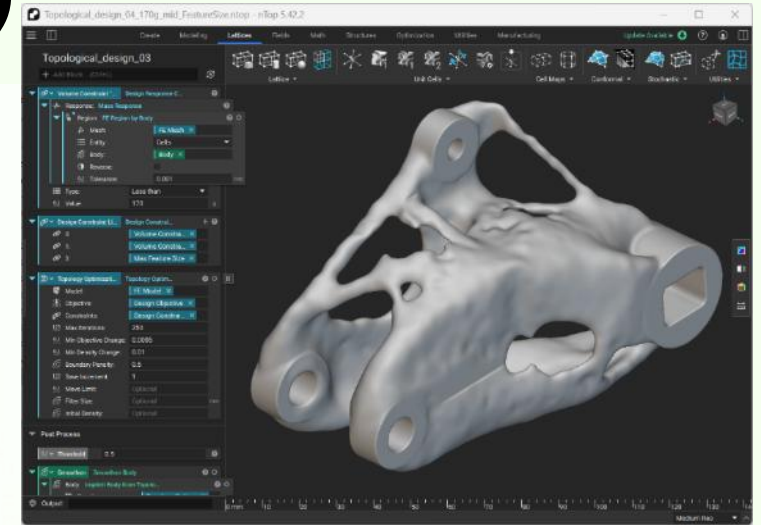
担当した仕事（工業デザイン系）

商品開発支援班

デザインのスキルを活かして、工業分野から食品分野まで幅広く支援。

担当業務

- ・プログラムでロボット部品を自動設計。
- ・醸造製品のブランド化／デザイン支援。



担当した仕事（電気・電子系）

電磁・信頼性評価支援班

電磁波測定装置や振動試験装置など
を用いて企業の製品開発をサポート



← 振動試験装置

10m法電波暗室 ↗



大変だったこと（材料物質系）

県内企業と共同で行っている活動で、企業へ1日中訪問する機会があります。

企業との日程調整が大変な面もありますが、様々な業種の企業と話せるので得られる知見も大きいです。

1日のスケジュール

8:30 出勤 9:00 メール確認 10:00 研究 12:00 昼休み

13:00
来所企業の相談対応

16:00
班ミーティング 17:15 退勤

職場の雰囲気

事務室は大部屋です。
メンター制度もあるので、わからないことがあれば気軽に相談できます（研修制度もあります）。
さまざまな分析装置を使って多角的な研究・技術支援が出来るので、実験が好きな人にはとても恵まれた環境です。



私の公務員試験対策

研究職の筆記試験では一般教養と専門科目の2つが出題されます。

- ・一般教養は参考書や過去問、
- ・専門科目は大学で学んだの復習（あやふやな部分）を確認するといいいと思います。

みなさんへのメッセージ

宮城県産業技術総合センターの採用選考への応募をお考えの方向けに、実際に足を運んでの職場見学を随時受け付けています。

<https://www.mit.pref.miyagi.jp/about/location/見学/>

